

申 立 書

令和 年 月 日

多 治 見 市 長

申請者 住所 _____
(所有者)
氏名 _____

このたび、私が建築し、又は取得しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1. 家屋の所在地番 多治見市 _____
家屋番号 _____

2. 入居予定年月日 令和 年 月 日

3. 入居が登記の後になる理由（該当する□に✓してください）

- ☐ 抵当権設定登記を急ぐため ☐ 学校関係の事情のため
☐ その他（具体的に記入）

4. 現住の家屋の処分方法と添付書類（該当する□に✓してください）

☒ 現住所の住民票の写し（必須）

＜処分方法＞

＜添付書類＞

☐ 自己所有を売却する	→	☐ 売買契約（予約）書 ☐ 売買の媒介契約書
☐ 自己所有を賃貸する	→	☐ 賃貸借契約（予約）書 ☐ 賃貸の媒介契約書
☐ 親族等が住む、親族等の持家・借家を退去する	→	☐ 親族等の申立書
☐ 借家等を退去する	→	☐ 賃貸借契約書 ☐ 社宅証明書 ☐ 家主の証明書
☐ 上記に該当しない場合 具体的に記入：.....		☐ ☐
☐ その他（抵当権設定登記を急ぐため）	→	☐ 金銭消費貸借契約書 ☐ 抵当権設定契約書

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。